

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会

第11回理事会議事次第（案）

平成24年6月17日（日）13:30～14:30

場所：沖縄大学

1 議 事

（1）事務局からの報告（資料1）

- ①寄付金申込について

（2）各委員会からの報告（資料2）

- ①選挙管理委員会からの報告
- ②助成事業の移植に関わる審査基準

（3）平成24年度サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援助成事業（資料3）

- ①平成24年度助成事業スケジュール
- ②審査会メンバー

（4）その他

- ①総会での議長の選出

資料 1 : 事務局からの報告

資料 2 : 各委員会からの報告

資料 3 : 平成 24 年度サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援事業助成事業

役員名簿

役職	名前	出欠	
会長	中野 義勝	○	
副会長	西平 守孝	○	
理事	泡瀬干潟を守る連絡会	桑江 直哉	○
	上里 幸秀		
	エコガイドカフェ	猪澤也斗志	委任状
	沖縄エコツーリズム推進協議会	平井 和也	
	沖縄県漁業協同組合連合会	賀数 基和	
	沖縄県自然保護課	富永 千尋	○
	沖縄県ダイビング安全対策協議会	案納昭則	
	鹿熊信一郎		
	梶原 健次		委任状
	環境省那覇自然環境事務所	若松 佳紀	○
	宜野湾の美ら海を考える会	具志堅 宗弘	
	後藤 亜樹		委任状
	コーラルクエスト	岡地 賢	委任状
	桜井 国俊		○
	沖縄リーフチェック研究会	安部 真理子	○
	NPO 法人グローイングコーラル	上原 直	委任状
	渡嘉敷ダイビング協会	平田 春吉	
	中谷 誠治		
	八重山サンゴ礁保全協議会	吉田 稔	○
	WWF ジャパン	権田 雅之	○
監査役	沖縄県衛生環境研究所	金城 孝一	○
	沖縄県環境整備課	比嘉 隆	

○ : 出席 × : 欠席

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会宛

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会 寄付金申込書

1. 寄付金の額

100,000 円

2. 寄付金の使途 (いずれかに○をつけてください。)

指定する (使途は別紙に記載)

指定しない

3. 御氏名・御社名をホームページ等で公表することを (いずれかに○をつけてください。)

了承する

了承しない

上記寄付を申し込みいたします。

平成 24年 6月 8日

住 所 東京都千代田区永田町 2-2-1 衆議院第一議員会館 617 号室

団体名 民主党サンゴの里海を元気にする議員連盟
(代表 大谷 信盛)

.....
様

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会 寄付金受入書

寄付金の額

.....
円

上記寄付をいただき、心より感謝申し上げます。確かに受け入れいたしました。

平成 年 月 日

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会
会長 中野義勝

印

(2) 各委員会からの報告

① 選挙管理委員会からの報告

別紙参照

② 助成事業の移植に関わる審査基準（移植 WG より）

決定事項（第 10 回理事会）

- ・ 審査基準（案）を骨子として了承され、以下の点が考慮されるように移植 WG へ回答する。
 - ▶ 当協議会の対象範囲は奄美群島まで含まれるため、「1. 移植に用いるサンゴは、特別採捕許可等の関係法令規則に基づいて採捕され・・・」の部分で特別採捕許可に関係するのは、沖縄県のみであることがわかるようにする。
 - ▶ 目的が明確にされていることを基準に加える。
 - ▶ 移植される場所の元あった環境について、どう配慮しているか。

サンゴ移植活動審査基準（案）V2 2012/06/12

0. サンゴ移植の目的が明確である。

1. 沖縄県内で移植に用いるサンゴは、特別採捕許可等の関係法令規則に基づいて採捕され、由来のはっきりしたものを使っている。
 - a. 試験研究の場合は特別採捕許可を受けている。
 - b. サンゴ移植活動の場合は、正規の手続きに従い採捕・養殖された種苗を用いている。
2. サンゴ礁生態系の遺伝的攪乱に配慮している。
 - a. 海外産のサンゴでない。
 - b. 移植先の海域からできるだけ近い海域のサンゴを使用している。
3. 地域の漁業協同組合などと調整し、理解を得ている。
4. 以下の項目などを考慮して移植場所を選定している。
 - a. サンゴ幼生の自然加入が少ない。
 - b. 赤土や過剰な栄養塩などの影響が少ない。
 - c. 移植するサンゴが元々生息していた環境と似た環境（水深，流れ，波当たり等）。
 - d. 高水温になりにくい環境（流れ，水深など）。
 - e. 移植時点で周囲にオニヒトデが少ない。
 - f. 移植したサンゴが，将来，幼生の供給源となる可能性がある。
 - g. 移植先の元の環境に配慮している。
5. 移植後のモニタリング（生存率や成長など）が計画されている。
6. 移植後の管理計画（海藻類の除去，オニヒトデ・魚類等の食害生物対策など）が組まれている。
7. サンゴ礁保全の普及啓発・広報（本助成活動の経過・結果・成果など）が含まれている。
8. たんなる集客目的のイベントではない。

なお、より詳細な情報につきましては、「沖縄県サンゴ移植マニュアル」を参考にしてください。

< <http://www3.pref.okinawa.lg.jp/site/contents/attach/19664/manual.pdf> >

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会役員候補

会長選挙

投票総数	有効投票数	無効投票数
50	50	0

会長

中野 義勝

副会長選挙

投票総数	有効投票数	無効投票数
50	50	0

副会長

西平 守孝

理事選挙

投票総数	有効投票数	無効投票数
598	598	0

理事

泡瀬干潟を守る連絡会	環境省那覇自然環境事務所
沖縄リーフチェック研究会（安部真理子）	沖縄エコツーリズム推進協議会
沖縄県自然保護課	梶原健次
渡嘉敷ダイビング協会	コーラルクエスト
宮古島マリンリゾート協同組合（木村浩之）	鹿熊信一郎
エコガイドカフェ	後藤亜樹
NPO 法人グローイングコーラル	桜井国俊
WWF ジャパン	沖縄県漁業協同組合連合会
沖縄県ダイビング安全対策協議会	中谷誠治
八重山サンゴ礁保全協議会	藤田喜久

監査役選挙

投票総数	有効投票数	無効投票数
50	50	0

監査役

沖縄県衛生環境研究所
上里 幸秀

(5) 平成 24 年度サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援助成事業

①平成 24 年度助成事業スケジュール

助成金の募集スケジュールは、移植 WG の議論をふまえて、審査基準が作成できる期間と、総会の際に助成の募集のお知らせができないかなと思い、〆切を 6 月末としました。また、昨年度助成の実施期間は平成 24 年度末までですが、今年度の助成の実施期間も、決定の日から 1 年間としました。

助成に関するスケジュール（案）

6 月 1 日：募集開始

6 月 30 日：募集〆切

7 月：審査会

8 月：選定結果発表、事業実施期間は決定の日から 1 年間

10 月：伝達式

②審査会メンバー

審査員候補は次の分野から選出する。

- ・ 専門家
- ・ 行政関係
- ・ 広く県内現場情報を把握している人

審査員候補（理事）

- ・ 鹿熊信一郎
- ・ 西平守孝
- ・ 小口陽介（環境省那覇自然環境事務所）
- ・ 富永千尋（沖縄県文化環境部自然保護課）
- ・ 権田雅之（WWF ジャパン）
- ・ 案納昭則（NPO 法人沖縄県ダイビング安全対策協議会）
- ・ 平井和也（特定非営利活動法人 沖縄エコツーリズム推進協議会）

審査員候補（理事以外）

・

- ・ 審査内容は公開しない。
- ・ 審査員に謝金は支払わない。旅費については、本島外の方へは支出する。